

**委託事業実施内容報告書**  
**平成27年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業**  
**【地域日本語教育実践プログラム(A)】**

**実施内容報告書**

受託団体名 SIL 札幌日本語学校

**1. 事業名称**

・北海道における日本語教育推進プロジェクト — 地域多文化共生を目指して2015

**2. 事業の目的**

・外国人生活者がよりニーズに合った効果的な日本語教育を受けることにより、地域に溶け込み、コミュニティの一端を担うことができることを行政の協力を得て目指す。多文化共生社会の実現に近づくために、異文化を双方で理解し、より容易に地域住民と共に暮らし、地域社会活動に参加できるような日本語習得を目指す。

**3. 事業内容の概要**

・日本語教育の観点から地域を繋ぎ、他の多文化共生に取り組む団体と連携して、外国人の社会参加を後押しする。複数年の事業実施により、行政との関わりができてきている。  
 本年度も札幌国際プラザや講座を開講する市町村各機関等、及び過去の講座受講生(医療関係者など)の協力を得て、複数年継続してきた日本語教育の場を固め発展させた。特に人材養成講座は盛況であった。

**4. 事業の実施体制について**

・札幌市、札幌市教育委員会、札幌市生涯学習センター、北海学園大学、(公財)札幌国際プラザ、千歳市、倶知安町、旭川市、帯広市(平成27年度に支援が開始された)、北海道文教大学、NPOグローバルヒューマン・イノベーション協会、市内小学校、国内外日本語ボランティア団体などに当事業の意義を深く理解したうえで、後援をいただき、相互に情報提供をした。広報活動・会場提供の協力を得る。後援サポートをいただく自治体、各団体の職員の方々にも、講座に参加してもらい地域に住む外国人との関わり方について、日本語の使い方などを指導。  
 中核メンバーは約20年以上にわたる日本語指導及びボランティア養成指導、また、夜間中学での指導経験、外国人住民としての多様な視点がある。各メンバー、運営委員と地域の多文化共生活動の促進のため札幌市内のみならず、北海道内の日本語指導者・生活支援者・市民交流ボランティア、NPO団体、災害対策のための活動者、学校、専門相談機関、大学、自治体と生活者としての外国人を対象とした連携体制作りをした。

**5. 運営委員会の開催について**

**【運営委員】**

1	神谷 順子	北海学園大学留学生会顧問 (元北海学園大学経済学部教授)
2	川上 美也子	札幌国際プラザ
3	境 有紀子	札幌国際プラザ
4	林 真知子	札幌市夜間中学校
5	木本 みゆき	日本語ボランティア「窓」
6	外山 静枝	日本語ボランティア「たんぽぽ」
7	西山 順子	日本語ボランティア SNC
8	Petia 佐々木	北海道大学工学部
9	島 治美	SIL札幌日本語学校
10		

**【概要】**

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成27年5月16日(土) 14:00~17:00	3時間	SIL札幌日本語学校	島 治美、木本 みゆき、林 真知子、外山 静枝、西山 順子、神谷 順子、川上 美也子、Petia 佐々木	今年度の取組の協議と検討; 取組(親子、人材養成)の場所、日程、対象者、募集要項、具体的内容、状況を確認検討
2	平成27年10月14日(水) 14:00~17:00	3時間	SIL札幌日本語学校	島 治美、木本 みゆき、林 真知子、外山 静枝、神谷 順子、境 有紀子、Petia 佐々木	・「親子で学ぼう日本語」講座(夏季)の経過報告と冬季講座の検討 ・「人材養成」講座(札幌、旭川、千歳、帯広会場)の経過報告と協議、検討; ・それぞれの講座の募集及び進捗状況の報告 ・課題点を抽出し、これらについて検討し以後の活動につなげる
3	平成28年1月28日(木) 15:00~18:00	3時間	SIL札幌日本語学校	島 治美、木本 みゆき、林 真知子、外山 静枝、西山 順子、神谷 順子、境 有紀子、Petia 佐々木	・「親子で学ぼう日本語」講座(冬季)の経過内容報告 ・「人材養成」講座(札幌、旭川、千歳、帯広会場)の経過報告と協議、検討;札幌会場最終回セミナーの予定報告 ・それぞれの講座の募集及び進捗状況の報告(帯広と旭川では追加開催をしたため) ・課題点を抽出し、これらについて検討し以後の活動につなげる
4	平成28年3月日(木) 15:00~18:00	3時間	SIL札幌日本語学校	島 治美、木本 みゆき、林 真知子、外山 静枝、西山 順子、神谷 順子、境 有紀子、Petia 佐々木	今年度の事業に関する総括、 ・それぞれの事業の最終的報告(参加人数、状況等)を行う ・参加者のアンケートを参照し、反省点、課題点を抽出する ・事業の改善点について検討する

## 6. 日本語教育の実施

### (1) 活動名称

「親子で学ぼう日本語（生活の日本語）」「社会参加につながる日本語」

### (2) 目的・目標

・日本の生活習慣を踏まえての日本語を指導し、地域の中でよりよい生活環境を作ること、日常生活でももちろん、緊急時にもあわてず、知っている語彙などで対処できることを目指す。

### (3) 対象者

・札幌市内外国人親子

### (4) 使用した教材・リソース

・文化庁カリキュラム案、『まるごと』、当校作成の日本語教材を主に使用。「みんなの日本語 I」「日本語を学ぼう」「文化庁教材例集」、文字・絵カード、手作り教材

### (5) 参加者の総数

15人

そのうちの日本語学習者数 13人

#### 【出身・国籍別内訳】

中国	2人	インドネシア	3人	※他の国籍の場合は以下に国籍と人数を記載してください。
韓国	人	タイ	人	・オーストラリア 4人
ブラジル	人	ペルー	人	・ウズベキスタン 2人
ベトナム	人	フィリピン	人	・ブルガリア 2人
ネパール	人	日本	2人	

### (6) 開催時間数(回数) 72 時間 (全 36 回)

### (7) 日本語教育の実施内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1-1	平成27年7月 28日(火) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	2人	ビギナーの日本語	初対面のあいさつ方法、簡単な自己紹介の方法を教え、実践する。場所の名前を使い行動を説明する	木本 みゆき	
1-2	平成27年7月 28日(火) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	2人	ビギナーの日本語	ア・カ行のカタカナ、日本のマナーを学ぶ:色を覚える、体の部位を左右で分ける。好き嫌いを説明する	西山 順子	
2-1	平成27年7月 29日(水) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	2人	日本の友人との関わり	普通形を使用して丁寧に意見を言う	外山 静枝	
2-2	平成27年7月 29日(水) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	1人	ビギナーの日本語	サ・タ行のカタカナ、新しい単語を覚えて質問をする・答える	西山 順子	
2-3	平成27年7月 29日(水) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	2人	災害を学ぶ	「やさしい日本語」を使用して地震とその言葉・漢字を学ぶ	木本 みゆき	
2-4	平成27年7月 29日(水) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	1人	日本語カアップ	漢字で遊ぶ	P.佐々木	
3-1	平成27年7月 30日(木) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	2人	より良いコミュニケーションのために	困ったときに状況を説明をする	島 治美	
3-2	平成27年7月 30日(木) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	1人	ビギナーの日本語	日時の日本語・誘いの表現	吉田 香織	
3-3	平成27年7月 30日(木) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	1人	ビギナーの日本語	「っ」の表記と読みかた、お互いのことを尋ねる	西山 順子	
3-4	平成27年7月 30日(木) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	2人	日本語カアップ	学校の友人について話す。できることを表現する	木本 みゆき	
3-5	平成27年7月 30日(木) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	2人	日本語カアップ	挨拶について自国のマナー	P.佐々木	
4-1	平成27年7月 31日(金) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	2人	より良いコミュニケーションのために	地震の時の対応ができる・非常持ち出し袋の中身その用途	島 治美	
4-2	平成27年7月 31日(金) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	1人	ビギナーの日本語	断られた時の対処の仕方	吉田 香織	
4-3	平成27年7月 31日(金) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	1人	ビギナーの日本語	カタカナ練習、家族の呼称、しりとりで言葉を覚える	西山 順子	
4-4	平成27年7月 31日(金) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	2人	日本語カアップ	初級日本語前半総復習	木本 みゆき	

4-5	平成27年7月 31日(金) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	2人	日本語カアップ	知っている漢字で語彙を作る	P.佐々木	
5-1	平成28年1月5 日(火) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	2人	より良いコミュニケーシ ョンのために	自己・自国紹介と質問の仕方・ 依頼の仕方を学ぶ	外山 静枝	
5-2	平成28年1月5 日(火) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	1人	日本語カアップ	助詞に気を付けて話す。読解問 題から内容理解をして説明をす る	清水 孝俊	
5-3	平成28年1月5 日(火) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	2人	ビギナーの日本語	食べ物、顔の部位、数、時間の 練習	林 真知子	
5-4	平成28年1月5 日(火) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	1人	日本語に慣れる	語彙を増やす・札幌の冬に困っ たこと	P.佐々木	
6-1	平成28年1月6 日(水) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	3	日本語カアップ	動詞の復習・時の言い方	木本 みゆ き	
6-2	平成28年1月6 日(水) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	1人	日本語に慣れる	いやなことをされた時説明をす る・受身を使って	清水 孝俊	
6-3	平成28年1月6 日(水) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	2人	日本語に慣れる	お互いに質問をしあって会話を 楽しむ・校内で使う漢字	林 真知子	
6-4	平成28年1月6 日(水) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	3人	ビギナーの日本語	挨拶・ひらがな・時間 ~は~で す	西山 順子	
7-1	平成28年1月7 日(木) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	2人	より良いコミュニケーシ ョンのために	形容詞の現在過去比較などを 使い病気について説明する、依 頼の仕方を学ぶ	外山 静枝	
7-2	平成28年1月7 日(木) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	1人	日本語に慣れる	んです・普通体で話す練習	清水 孝俊	
7-3	平成28年1月7 日(木) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	1人	日本語に慣れる	やりもらいの日本語・漢字を読 む	林 真知子	
7-4	平成28年1月7 日(木) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	3人	ビギナーの日本語	ひらがな へ行~た行 移動動 詞を使う・足し算引き算でクイズ を出す	西山 順子	
8-1	平成28年1月8 日(金) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	3人	日本語に慣れる・火事	日本の生活の新しい情報を得る	外山 静枝	
8-2	平成28年1月8 日(金) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	2人	日本語に慣れる・火事	好きなことと将来なりたいもの	清水 孝俊	
8-3	平成28年1月8 日(金) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	1人	日本語に慣れる・火事	札幌で困ったこと・名詞修飾	林 真知子	
8-4	平成28年1月8 日(金) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	3人	ビギナーの日本語・火事	新しい動詞・好きです嫌いです	西山 順子	
9-1	平成28年1月 13日(水) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	3人	日本のマナーを学ぶ	訪問時の会話・てもいいですか・ てください	外山 静枝	
9-2	平成28年1月 13日(水) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	1人	日本のマナーを学ぶ	友達の家に行ってしてはいけない こと 謝る	清水 孝俊	
9-3	平成28年1月 13日(水) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	1人	日本のマナーを学ぶ	訪問のマナー、質問を聞き返す	林 真知子	
9-4	平成28年1月 13日(水) 13:30~15:30	2	SIL札幌日 本語学校	2人	日本のマナーを学ぶ	挨拶とトイレ、帰る時	西山 順子	

(8) 特徴的な活動風景(2~3回分)

取組事例①

【第8回 2016年1月8日】

消防車、救急車の呼称を学び、もし地震や火事にあった時に何をするか、何と言うかなどを学んだ。て形、命令形



取組事例②

【第9回 2016年1月13日】

日本人宅への訪問時のマナーを学ぶ。玄関に入ったとき、靴のそろえ方、コートの脱ぐ場所、置き方、帰る時のあいさつ、お辞儀の仕方など日本語力が高い大人も改めてマナーを確認した。子どもたちも今まで誰にも習っていないので、興味津々だった。「～てもいいですか」などの練習



(9) 目標の達成状況・成果

「親子で学ぼう」は札幌会場のみ開講。一昨年の親子日本語教室に来た子どもは親の通訳をするまでになっていた。日本語力の成長に目を見張った。

(10) 今後の改善点について

親はある程度コミュニケーションはできるが、バイト先で身につけた日本語力で、文にならないことも多く、子どもに親の方が頼りっぱなしでその場を切り抜けることも多いと見えた。今後も学習を続けたいという希望があったが、当該企画ではカバーしきれっていない。過去の日本語教育人材養成講座参加者もボランティアで講座に関わった。人材養成講座の修了生は多くが日本語指導活動開始を希望しているが、当該日本語講座などではほとんど素人のレベルであるため、事前指導もかなりの時間必要となる。その場ですぐ動いてもらっても指導が難しく効果が期待できないのが現状である。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称

あわてないで教えよう2015「札幌会場」「旭川会場」「千歳会場」「帯広会場」「倶知安・ニセコ会場」

(2) 目的・目標

・文法積み上げ式の日本語教科書一辺倒の指導を離れ、暮らしにかかわる事項の知識の確認、その日本語(サバイバル日本語・防災・通院時の日本語など)の教え方のテクニックを異文化理解を元に学び、地域の日本語教室でそれを生かす。

(3) 対象者

・日本語指導活動に興味がある一般市町村民

(4) 使用した教材・リソース

・文化庁カリキュラム案、「やさしい日本語」「わかる日本語」当校にて作成した防災・傷病時の日本語、お弁当作り、日本のマナーについてに関する日本語の資料、その他自治体作成パンフレットなど

(5) 受講者の総数 115 人

【出身・国籍別内訳】

中国	1人	インドネシア	人	※他の国籍の場合は以下に国籍と人数を記載してください。
韓国	人	タイ	人	
ブラジル	人	ペルー	人	
ベトナム	人	フィリピン	人	
ネパール	人	日本	114人	

(6) 開催時間数(回数) 61 時間 (全 22 回)

(7) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修テーマ	授業概要	講師名	補助者名
1	平成27年9月12日(土) 11:30~14:30	3	帯広文化スポーツ会館(会議室)	6人	「やさしい日本語、言い換え」「減災のためのやさしい日本語」	・常総市の水害を例に外国人が困ること、その時の対応のために ・減災のためのやさしい日本語の概要	島 治美 2時間 木本 みゆき 1時間	木本 みゆき 2時間 島 治美 1時間
2	平成27年9月19日(土) 13:00~16:00	3	旭川市国際交流センター	5人	「やさしい日本語、言い換え」	・常総市の水害を例に外国人が困ること、その時の対応のために ・日本語をどのように言い換えるか	島 治美 3時間	
3	平成27年9月26日(土) 13:00~16:00	3	旭川市国際交流センター	5人	「お知らせの日本語」	回覧板、小学校のお知らせを使った「やさしい日本語」言い換え練習	木本 みゆき 3時間	
4	平成27年10月6日(火) 16:00~18:00	2	千歳市立勇舞中学校(図書室)	15人	「減災のためのやさしい日本語」	減災のためのやさしい日本語の概要	島 治美 1時間 木本 みゆき 1時間	木本 みゆき 1時間 島 治美 1時間
5	平成27年10月20日(火) 16:00~18:00	2	千歳市立勇舞中学校(図書室)	12人	「お知らせの日本語」「マナーの日本語」	小学校のお知らせを使った「やさしい日本語」の言い換え練習 温泉のマナーについて	木本 みゆき 1時間 外山 静枝 1時間	外山 静枝 1時間 木本 みゆき 1時間
6	平成27年10月24日(土) 10:00~13:00	3	倶知安町中小企業センター(会議室)	5人	「減災のためのやさしい日本語」「緊急時の日本語」	「やさしい日本語」概要と言い換え練習 緊急時(地震、なだれ、洪水など)のやさしい日本語について考える	木本 みゆき 3時間	
7	平成27年10月27日(火) 16:00~18:00	2	千歳市立勇舞中学校(図書室)	6人	「非常持ち出し袋」「札幌の児童対象ボランティアグループとその活動」	防災グッズの説明・支援している外国人児童の日本語指導について	島 治美 1時間 西山 順子 1時間	西山 順子 1時間 島 治美 1時間
8	平成27年10月31日(土) 13:30~16:30	3	札幌国際プラザ会議室	53人	「地域日本語学習支援における参加型学習と教材活用」	教材とテーマの具体例を学ぶ。写真を使用して会話を広げるなど。	伊藤 祐郎 3時間	島 治美 3時間
9	平成27年11月7日(土) 9:30~12:30	3	札幌国際プラザ会議室	26人	やさしい日本語・わかる日本語「減災のためのやさしい日本語」	「減災のためのやさしい日本語」概要	島 治美 2時間 木本 みゆき 1時間	木本 みゆき 2時間 島 治美 1時間
10	平成27年11月7日(土) 13:00~16:00	3	札幌国際プラザ会議室	27人	やさしい日本語・わかる日本語「減災のためのやさしい日本語」	「減災のためのやさしい日本語」概要	島 治美 2時間 木本 みゆき 1時間	木本 みゆき 2時間 島 治美 1時間
11	平成27年11月14日(土) 9:30~12:30	3	札幌国際プラザ会議室	26人	「やさしい日本語」「お知らせの日本語」	避難所のルール 町内会回覧板、学校のお知らせを使って言い換え練習 「~てください」 クラスに注意	木本 みゆき 2時間 林 真知子 1時間	林 真知子 2時間 木本 みゆき 1時間
12	平成27年11月14日(土) 13:00~16:00	3	札幌国際プラザ会議室	24人	「やさしい日本語」「お知らせの日本語」	避難所のルール 町内会回覧板、学校のお知らせを使って言い換え練習 「~てください」 クラスに注意	木本 みゆき 2時間 林 真知子 1時間	林 真知子 2時間 木本 みゆき 1時間
13	平成27年11月21日(土) 9:30~12:30	3	札幌国際プラザ会議室	18人	災害時の情報・生活者としてのマナー	・災害緊急速報と非常持ち出し袋 ・温泉・訪問のマナー	島 治美 1時間 外山 静枝 2時間	外山 静枝 1時間 島 治美 2時間
14	平成27年11月21日(土) 13:00~16:00	3	札幌国際プラザ会議室	24人	「災害時の情報・生活者としてのマナー」	・災害緊急速報と非常持ち出し袋 ・温泉・訪問のマナー	島 治美 1時間 外山 静枝 2時間	外山 静枝 1時間 島 治美 2時間
15	平成27年11月28日(土) 10:00~13:00	3	倶知安町中小企業センター(会議室)	5人	「病院の日本語・活者としてのマナー」	病気表現、病院での指示の言葉について考える 温泉のマナーをどう教えるか	木本 みゆき 3時間	

16	平成27年12月5日 (土) 9:30~12:30	3	札幌国際プラ ザ会議室	17人	病院検査時の日本語 模擬実習	病気表現、骨折時の病院での 会話についてやさしい日本語へ の言い換え練習 冬道の歩き方について外国人 ゲストにやさしい日本語で伝える	木本 みゆき 3 時間	外山 静枝 3 時間
17	平成27年12月5日 (土) 13:00~16:00	3	札幌国際プラ ザ会議室	22人	病院検査時の日本語 模擬実習	・災害緊急情報の取得法と非常 持ち出し袋・病気とけが、薬の 飲み方・冬の生活指導を実際に 教えてみる	島 治美 1時間 外山 静枝 2時 間	外山 静枝 1 時間 島 治美 2時 間
18a	平成27年12月19 日(土) 11:30~12:30	1	帯広文化ス ポーツ会館 (会議室)	14人	「やさしい日本語」	やさしい日本語 概要と言い換 え練習 地震津波情報を伝える	木本 みゆき 1時間	
18b	平成27年12月19 日(土) 11:30~12:30	1	帯広文化ス ポーツ会館 (会議室)	2人	病気の日本語	病気とけが、薬の飲み方指導	外山 静枝 1 時間	
19	平成27年12月19 日(土) 12:30~14:30	2	帯広文化ス ポーツ会館 (会議室)	16人	「お知らせの日本語」 模擬実習	「回覧板のお知らせ」の言い換 え 外国人ゲストとの対話活動を通 して学習者のレベルを考える	木本 みゆき 2時間	外山 静枝 2 時間
20	平成28年1月16日 (土) 13:00~16:00	3	旭川市国際 交流センター	7人	「やさしい日本語」復習 病気表現と病院での会話 文法	「やさしい日本語」復習 病気表現と病院での会話 文法「やさしい日本語」言い換 え練習 病気表現、病院での指示の言 葉についての言い換え練習 木 本 みゆき 3時間	木本 みゆき 3 時間	
21	平成28年1月30日 (土) 13:00~16:00	3	旭川市国際 交流センター	5人	「やさしい日本語」復習 「お知らせの日本語」	「やさしい日本語」言い換え練習 冬道の歩き方、マイナンバーの お知らせを使って伝える練習	木本 みゆき 3 時間	
22	平成28年2月21日 (日) 13:00~16:00	3	札幌国際プラ ザ会議室	29人	「地域日本語学習支援に おける対話型活動のすすめ」	外国人学習者と日本語講師と の学習の様子の映像を見て考 えたり、実際に学習者とのお しゃべりを想定して質問文を作 成するなどのワーク	岩田 一成 3時間	島 治美 3時 間

(8) 特徴的な活動風景(2~3回分)

取組事例①

平成27年12月5日(土)13:00~16:00 札幌会場 モデル学生台湾人 姉弟(社会人)  
二名の外国人モデル(初級レベル話者)とウォームアップとして①対話活動(各自やさしい日本語で質問をする)  
②冬の生活で教えた情報を知りやすい日本語で説明する。受講者は外国人に実際に教えてみたいという希望を持っていたので大変満足されたようだ。又使う日本語の難易度も考える意識が芽生えた。



取組事例②

平成27年12月19日(土)12:30~14:30 帯広会場 モデル学生 モンゴル人ビギナーに近い初級話者二名  
初めに講師が対話活動をし、次に受講生が対話を開始し、自らが使う日本語でどの程度通じるか学習者の理解度を考えた。



(9) 目標の達成状況・成果

各会場において、どのように外国人に日本語で対応すればいいか、具体的に一つ一つの場面において各自持っている情報を確認し、その中で重要な情報を選び、言い換えを練習していった。又文章レベルでの言い換えも毎回行い、やさしい日本語に対する意識が改めて喚起された。ただ、その言葉は日本語能力試験の何級に当たるのかとこだわる参加者もいた。最終日に出席した参加者のアンケートによると日本語支援を開始したいという参加者が過半数を占めた。

(10) 今後の改善点について

外国人と講座の中で実際に関わりたいという受講生もいるのだが単に交流のみを楽しみたいということもある。又各自が重要だと考える情報の精査もなかなか難しい。又回を重ねるごとに参加者が少なくなっている理由の追跡調査が必要かとも思われる。アンケートは最終日に行うので、欠席した参加者からはコメントがもらえない。他団体の参加者の増減の理由も確認したいと考える。

## 7. 日本語教育のための学習教材の作成

### (1)教材名称

雪国の日本語を学ぼう

### (2)対象

・日本語ボランティア、外国人生活者。対象たる外国人の日本語能力は初級前半終了～中級前半レベルを対象とする。母語は限定しない。

### (3)目的・目標

・雪国での生活に必要な日本語を学ぶ教材。暴風雪によっておこる事態に正しく理解し行動できることを目指す。交通機関の不通時、停電時、学校からのお知らせ、天気予報の日本語、冬の北海道方言など。  
・病院側・外国人患者双方にとって難しい、症状説明、検査時・リハビリなどの指示に関する日本語教材を作成。それにより双方に混乱をなくす。

### (4)構成（総ページ数： 25 ページ）

序文、1課 冬の公共交通機関 2課 冬のけがと治療 3課 大雪とその備え 4課 冬の言葉  
(全課に英語中国語訳一部含む)

### (5)教材の具体的な活用方法

・ボランティアグループにて生活に必要な冬の情報を取り入れ活用する

### (6)具体的な活用例

冬の交通機関の不通に遭遇した時には張り紙や電光掲示板の写真を学習者に持参してもらい、この教材と合わせて使用する。構内アナウンスも少しでも聞き取れるレベルの外国人生活者なら録音し使用。診察室、処置室でのロールプレイをし、リハビリ室の日本語は体を実際に動かして言葉に慣れる。

### (7)成果物のリンク先

※<http://www.silnihongo.com>



## 8. 事業に対する評価について

### (1) 事業の目的・目標

・外国人生活者がよりニーズに合った効果的な日本語教育を受けることにより、地域に溶け込み、コミュニティの一端を担うことができることを行政の協力と市井のボランティア活動を通じて目指している。多文化共生社会の実現に近づくために、異文化を双方で理解し、より容易に地域住民と共に暮らし、地域社会活動に参加できるような日本語習得を目指す。

### (2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

・札幌国際プラザに共催、又、帯広市、倶知安町、千歳市、旭川市の強力なサポートもいただいたため、年々活動がスムーズになってきている。養成講座の各会場では、具体的な外国人への関わり方がイメージ出来、講座終了後にはボランティアとして支援に加わった人もいる。ただ、具体的な活動グループが札幌・旭川・帯広市以外ではできていないようで、外国人が拡散している、又日本語教育のための学習の機会がなかなか持てない北海道の課題だと思われた。

### (3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

・全くの日本語初心者にはカリキュラム案教材例集の写真などを使用して語彙の指導。初級後半者には銀行、病院での対応を活用。人材養成講座ではカリキュラム案教材例集を紹介。外国人受講者はある程度日本に滞在し日本語が理解できれば、教材例集にある内容以外のものを求める。又日本語がほとんどわからなければ、これらの事例も口移しで暗記させるように教えなければならない、指導を受ける外国人のレベルによって使えるものを選ぶ必要がある。又日本人支援者にとっても、外国人の日本語力のレベルは判断できないことが多いので、活用方法について指導者側の時間をかけた研修が必要だと思われる。

### (4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

・当該取り組みも年々受講希望者が増加し、自治体、公共団体のサポートもしっかりと得られるようになった。講座にも自治体の方に見学をしてもらい、又事業の後には一緒にフィードバック、もしくは次回へつなげるための問題点などを報告してもらった。今後はカリキュラム案などの活用方法についても地域に合わせたやり方をともに検討していきたい。

### (5) 事業実施に当たっての周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

受講者の募集方法 -札幌国際プラザのおかげで札幌市広報への掲載が可能となり募集効果が格段にあがった。そのほか地方自治体職員がかなり積極的に外国語ボランティアの集まりなどでも周知に努力をしてくれた。自治体のサポートをいただき、市内広報誌、コミュニティ誌にも掲載。又市内小中学校、道内ボランティア団体への募集要項配布及び当校ウェブサイトへの掲載。外国籍の児童のいる学校からの個別の協力。道内各市町村への募集要項配布・公共施設にても掲示配布。

### (6) 改善点、今後の課題について

財務的に厳しく、外国人が集住していない北海道では自治体からの在住外国人支援のための資金補助はあまり期待できない。資金面の援助が難しいのであれば人員レベルのサポートをもらえるよう各団体等が協力して動く必要があると思われる。又ボランティアグループでは外国人に必要な情報とその日本語を教えるという意識が不足し、どうしても教科書通りの文法積み上げの指導に固執せざるを得ないようである。その点の意識改革を当該事業にて進めていくことが必要だと思われる。

### (7) その他参考資料

教材 Word ファイル